

景況レポート

2024年4～6月期調査

景気動向の概況

業況DIは
前期比0.6ポイントマイナス

今回のアンケート調査は、原材料価格の高止まりや個人消費の低迷などのマイナス要因と賃上げの実施による消費マインドの改善やインバウンド需要の拡大などプラス要因が入り混じった環境下で実施いたしました。結果として、今期の全業種業況DIは▲12.2の前期比0.6ポイントマイナスとなり、全体の業況判断としては横ばいとなりました。今後については、プラス要因として、実質賃金の引き上げや定額減税実施による個人消費の拡大、企業においては、自動車産業の生産再開や引き続き旺盛なインバウンド需要などが考えられます。一方、マイナス要因としては、原材料価格の高止まりや円安に加え、電気料金の引き上げによるコスト負担の増加などがあります。プラス・マイナス相殺により引き続き現在の状況が続くことが予想され、来期の見通しについてもほぼ横ばいとなっております。

調査要領	合計			小売業			サービス業		
	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率
製造業	357社	124社	34.7%	254社	69社	27.2%	119社	37社	31.1%
建設業	287社	81社	28.2%	119社	37社	31.1%	294社	84社	28.6%
卸売業	288社	74社	25.7%						

調査時点 / 2024年5月15日～6月5日
 調査依頼先 / 当庫取引先
 調査方法 / 郵送調査
 調査対象期間 / [今期] 2024年4月～6月
 [前期] 2024年1月～3月
 [来期] 2024年7月～9月
 分析方法 / 「増加」(上昇)したとする企業の占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(DI)により分析を行った。
 ※DI: Diffusion Index (デフュージョン・インデックス)

製造業

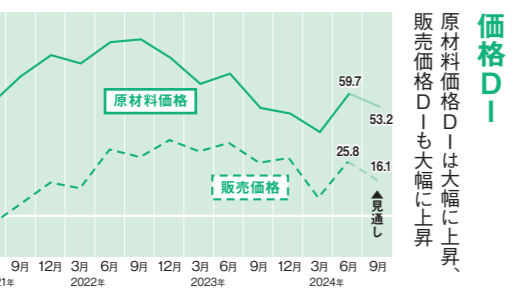
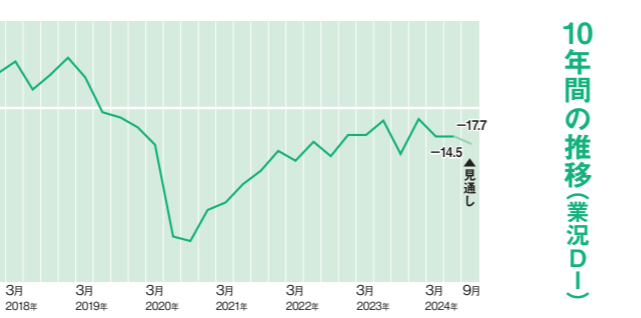
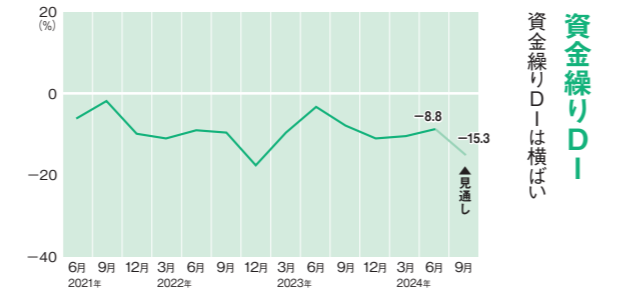
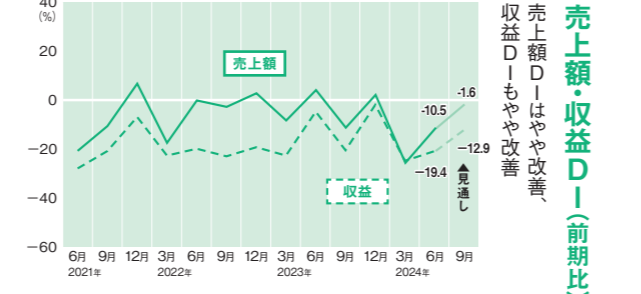
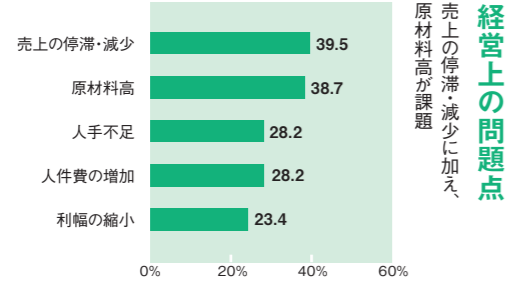
業況は横ばい、
来期は悪化の見通し

前期
今期
見通し

建設業

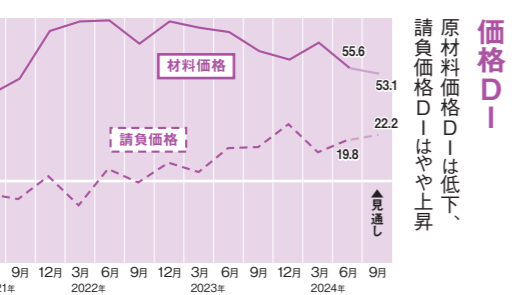
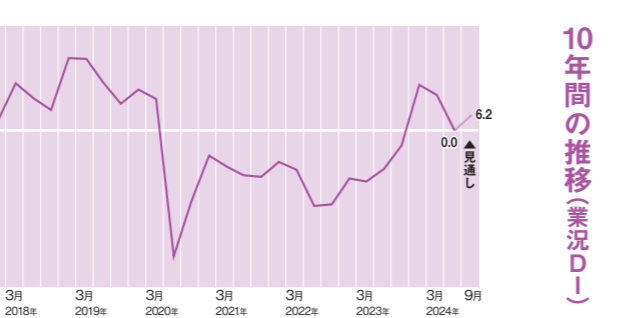
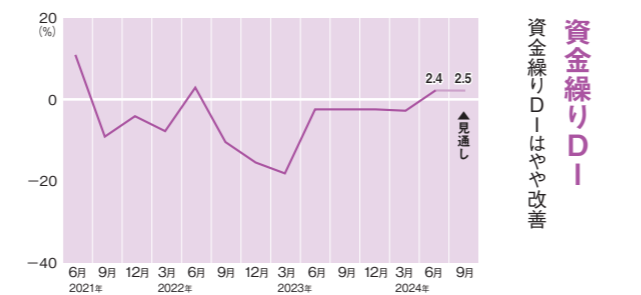
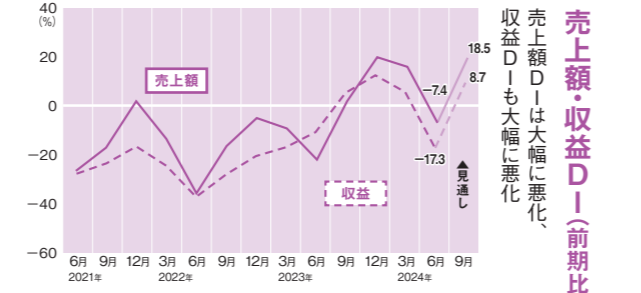
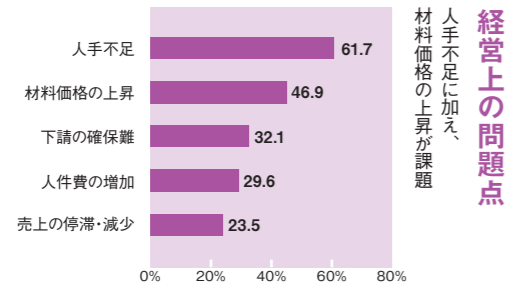
業況は悪化、
来期はやや改善の見通し

前期
今期
見通し



お客様の声

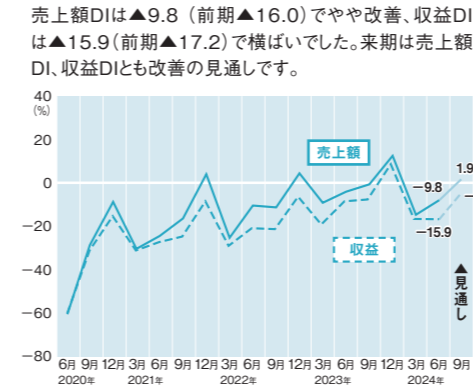
- 昔の日本は技術、品質などの利点があり諸外国がこぞって買いにきた。今は売るものがない。(尼崎市 製造業)
- 昨年10月頃から受注量が減少し赤字続きです。全体的な回復を期待します。(川西市 精密機械器具製造業)



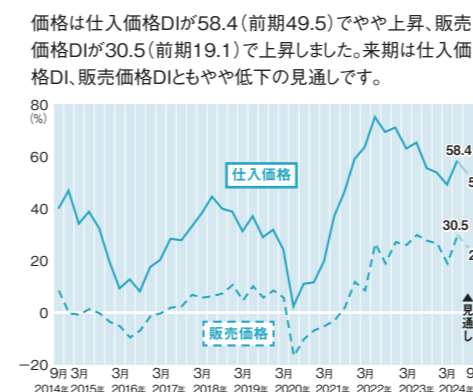
お客様の声

- 全体的に見て、出荷・運搬・製造などが停滞している。(尼崎市 建設業)
- 景気は悪い方だと思います。(西宮市 塗装業)

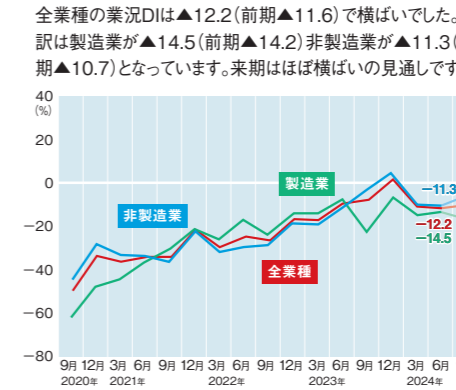
売上額DI・収益DI(前期比)



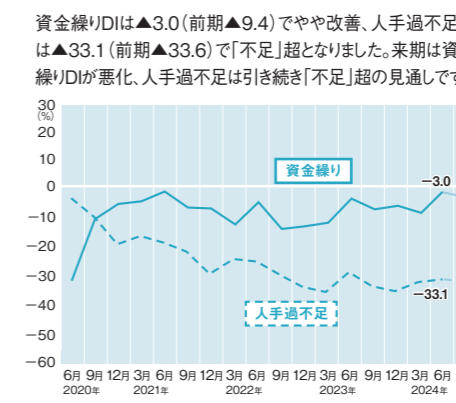
10年間の推移(価格DI)



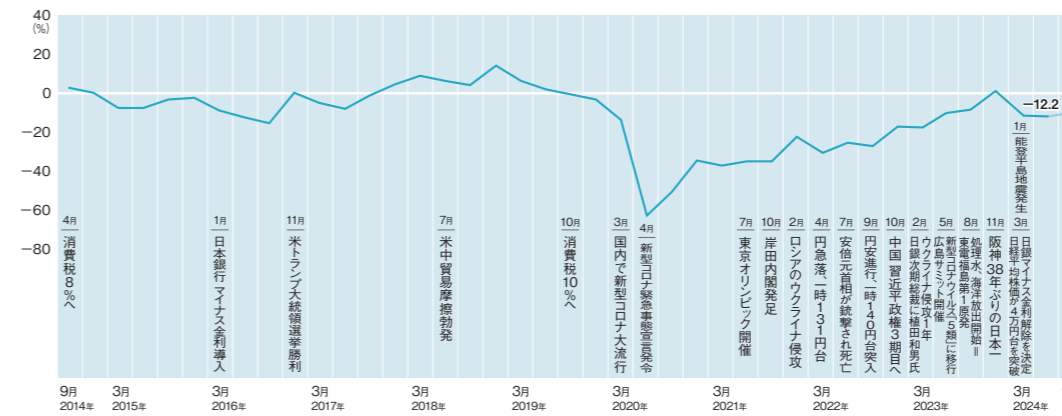
業況DIの推移



資金繰りDI・人手過不足DI



10年間の推移(業況DI)



全業種総合DI

業況は、横ばい
来期は、ほぼ横ばいの見通し

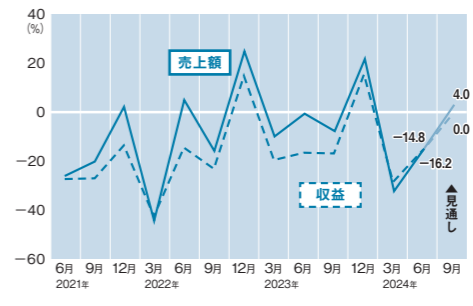
前期
今期
見通し

卸売業

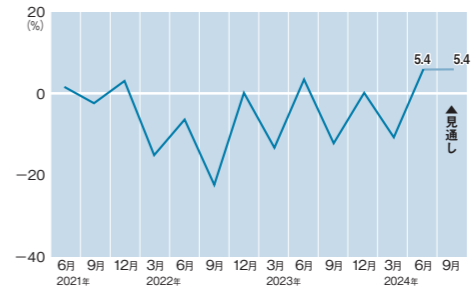
業況はやや改善、
来期もやや改善の見通し



売上額・収益D-I(前期比)
売上額D-Iは改善、
収益D-Iはやや改善



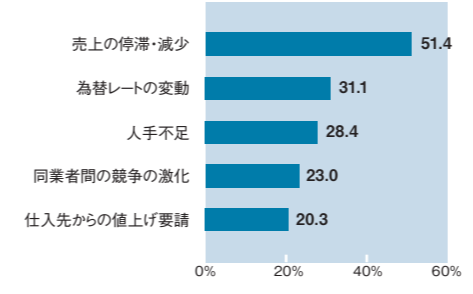
資金繰りD-I
資金繰りD-Iは大幅に改善



10年間の推移(業況D-I)

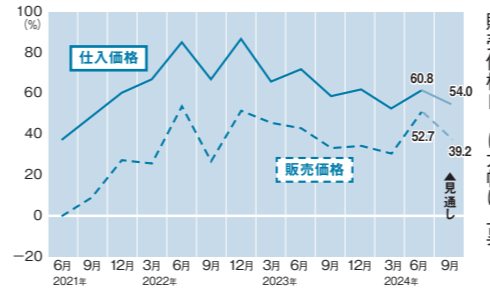
経営上の問題点

売上の停滞・減少が課題



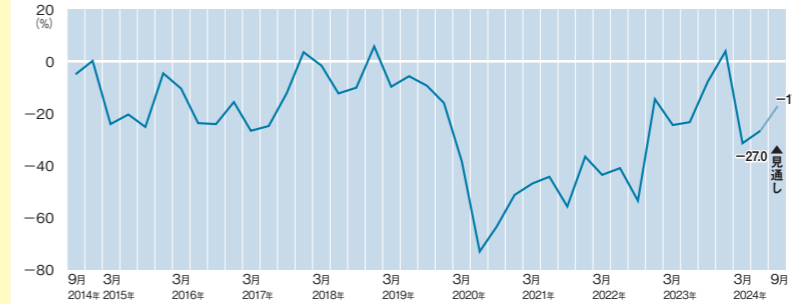
価格D-I

仕入価格D-Iはやや上昇、
販売価格D-Iは大幅に上昇



お客様の声

- 昨年よりすべての物価が上がり利益、人材の確保が難しく、日々、スタッフ皆で悩んでいます。少しでも会社が良くなるように日々努めて参ります。(尼崎市 機械器具卸売業)
- 新築着工件数は今年は昨年と比べ減少すると思います。今後はリフォームが重要視されると考えます。(川西市 卸売業)
- 輸入品が多いので為替レートが少しでも円高に振れて欲しい。(三木市 卸売業)

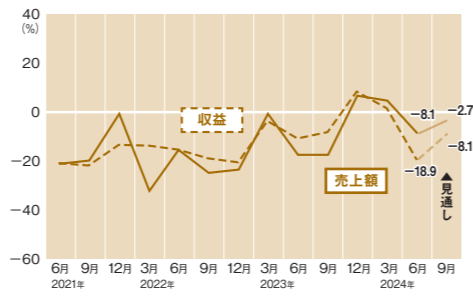


不動産業

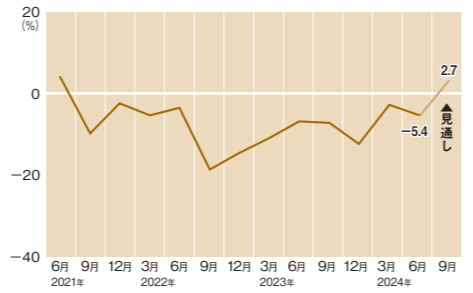
業況は悪化、
来期も悪化の見通し



売上額・収益D-I(前期比)
売上額D-Iは悪化、
収益D-Iは大幅に悪化



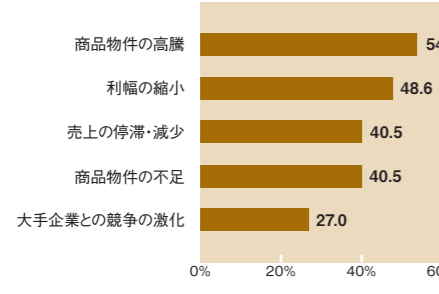
資金繰りD-I
資金繰りD-Iはほぼ横ばい



10年間の推移(業況D-I)

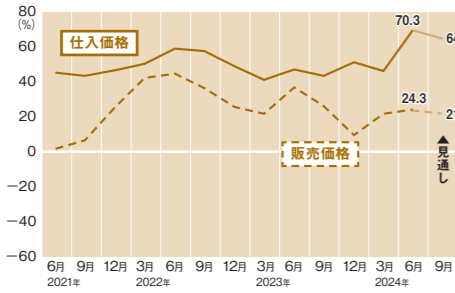
経営上の問題点

商品物件の高騰に加え、
利幅の縮小が課題



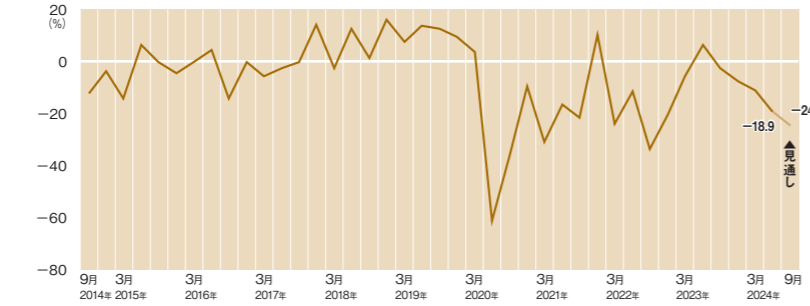
価格D-I

仕入価格D-Iは大幅に上昇、
販売価格D-Iはほぼ横ばい



お客様の声

- 資産価値の下がっている物件の賃貸や売却にやや苦しんでいる。(尼崎市 不動産業)

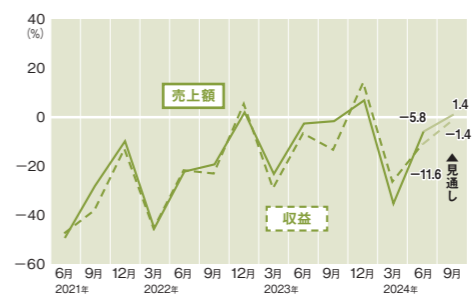


小売業

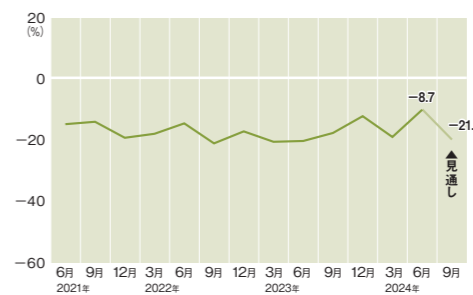
業況はほぼ横ばい、
来期は改善の見通し



売上額・収益D-I(前期比)
売上額D-Iは大幅に改善、
収益D-Iはやや改善



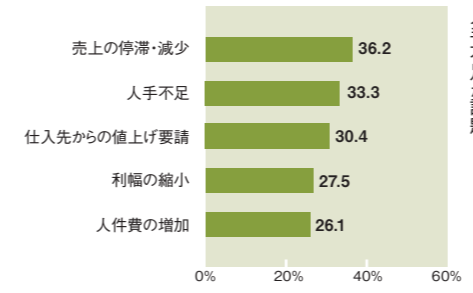
資金繰りD-I
資金繰りD-Iは改善



10年間の推移(業況D-I)

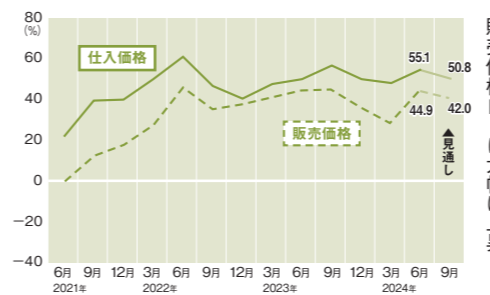
経営上の問題点

売上の停滞・減少に加え、
人手不足が課題



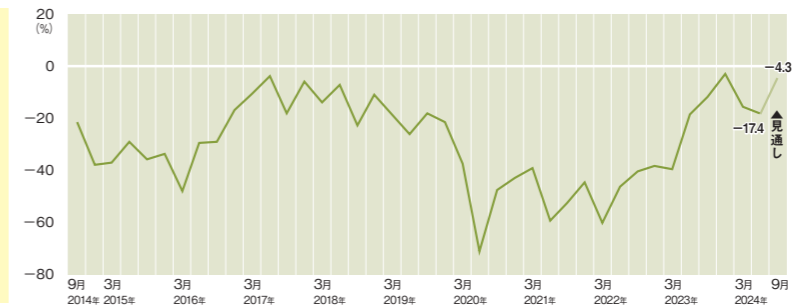
価格D-I

仕入価格D-Iはやや上昇、
販売価格D-Iは大幅に上昇



お客様の声

- 災害に対するBCPはありますが、対策はできていない。(大阪市 小売業)
- 2030年ごろまでに東海地方に地震が来るといわれているのである程度は準備しているが、実際に地震がくると銀行もパソコンもすべて動かなくなる。ある程度の現金保有は必要と考えるが盗難などのことを考えると躊躇する。(宝塚市 小売業)

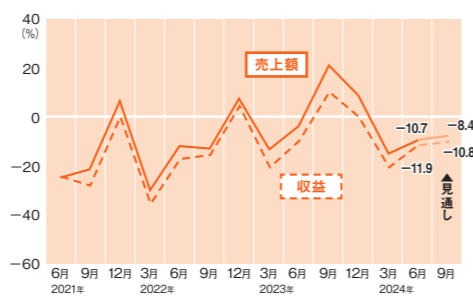


サービス業

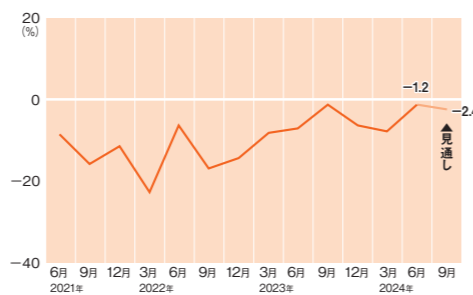
業況は改善、
来期は悪化の見通し



売上額・収益D-I(前期比)
売上額D-Iはやや改善、
収益D-Iもやや改善



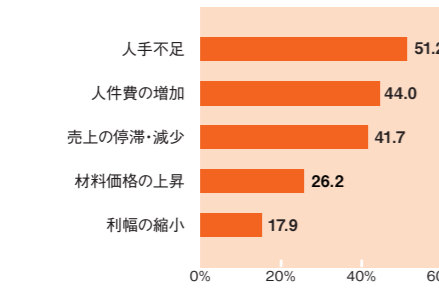
資金繰りD-I
資金繰りD-Iはやや改善



10年間の推移(業況D-I)

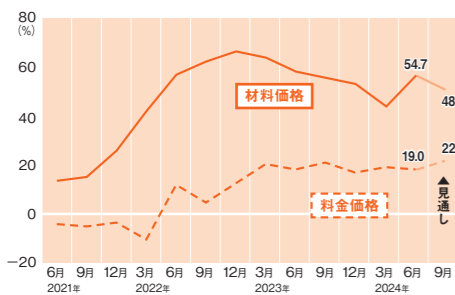
経営上の問題点

人手不足に加え、
人件費の増加が課題



価格D-I

材料価格D-Iは上昇、
料金価格D-Iは横ばい



お客様の声

- 購入数の減少により収益がやや減少する見込みです。(尼崎市 サービス業)
- 大阪港のコンテナ輸送が不振のため当社への売上にも少なからず響いている。(大阪市 運送業)

